

箱めがねを作ろう



川で生活する生き物を観察する時、欠かせないのが「箱めがね」。川の中を小さな魚がちよちよと動いたり、水の流れが手に取るようにわかります。

場所

川原、川

季節

夏

用具

あきかん（ベビーミルクやレギュラーコーヒーのように口

用具

径の広いもの）、カン切り、強いビニル袋、輪ゴム、ガムテープ（またはプラ板、瞬間接着剤）

作り方(1)



1
いち



あきかんの底をかん切りで切り抜く

2
に



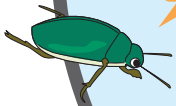
ビニル袋を開いて底に当て、輪ゴムでとめる（ピンと張るのがコツ）

3
さん



布製のガムテープでぐるりと巻く。

作り方(1)



1
いち



プラ板をかんの大きさに丸く切る。

2
に



瞬間接着剤でかんと接着する。

3
さん



ガムテープで接着面を保護する。

作り方(1)

かんがないときの牛乳パックでの代用



1
いち



牛乳パックの口をきれいに開く。

2
に



ビニル袋を当てて、ガムテープで巻く。

*この場合、水中にいれると牛乳パックが変形するので、水の中に少し入れておく。それでもよく見えるよ。